

安全データシート

改訂日 2024年6月24日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

ミリスチン酸
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
GB0018

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2B

* 記載のないものは「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

警告

皮膚刺激

眼刺激

【安全対策】

適切な保護具を着用すること。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

皮膚についての場合: 多量の水と石鹼であらうこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

【廃棄】

内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

該当情報なし。

他の危険有害性

3. 組成、成分情報

化学品・混合物の区別

化学名

別名

化学式

CAS RN

含有量

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

GHS分類に寄与する不純物及び安定化化合物

単一物質

ミリスチン酸

n-テトラデカン酸

 $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{12}\text{COOH}$

544-63-8

99%以上

(2)-608 / 公表

該当情報なし。

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

必要ならば医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後、石鹼を用いて十分に洗浄する。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲込んだ場合	医師の手当てを受ける。 口をすすぐ。 速やかに医師の手当てを受ける。 該当情報なし。
予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	該当情報なし。
応急処置をするものの保護	該当情報なし。
医師に対する特別な注意事項	該当情報なし。
5. 火災時の措置	
消火剤	粉末消火剤、泡末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、水噴霧
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	火元への燃料源を立ち、適切な消火剤を使用して消火する。 周辺の設備等に散水して冷却する。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 流出したもの、又は洗浄した水が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。 清潔なシャベル等を用いて、粉塵が飛散しないようにして空容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。 取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を講じる。
安全取扱注意事項	火気注意 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 粉じんの吸入を避ける。 眼に入れない。 皮膚との接触を避ける。
接触回避	高温物、スパーク、火気。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗う。
保管	
安全な保管条件	火気厳禁
容器包装材料	気密容器に入れ、通風換気のよい場所で密封して保管する。 ポリプロピレン、ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
濃度基準値	未設定
設備対策	貯蔵ないし取扱う作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置する。
保護具	貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を講じる。

呼吸器の保護具	呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	耐薬品性手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業衣を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	粒上固体
色	白色
臭い	該当情報なし。
融点・凝固点	53.9℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	250℃/100mm
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	155℃
自然発火点	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	水に不溶、アルコール/エーテル/アセトン等の溶剤類に可溶。
n-オクタノール/水分配係数	6.091±0.185
蒸気圧	1mmHg/142℃
密度及び/又は相対密度	該当情報なし。
相対ガス密度	該当情報なし。
粒子特性	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取り扱いに於て安定である。 アルカリ性物質と混合してケン化され、石ケンを生成する。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	該当情報なし。
混触危険物質	塩基、酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素
11. 有害性情報	
急性毒性	経口：LD ₅₀ >10g/kg (ラット) 経皮：LD ₅₀ >2000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	吸入(粉塵)：該当情報なし 75mg/3D; Moderate (人)(中程度の刺激性がある)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	100mg; Mild (ウサギ)(軽い刺激性がある)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：該当情報なし。 皮膚：該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし。
吸引性呼吸器有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	急性：該当情報なし。 長期間：該当情報なし。
残留性・分解性	易生分解性と考えられる。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	土壤環境において移動性はほとんどない。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	該当しない。
品名(国連輸送名)	該当しない。
国連分類	該当しない。
容器等級	該当しない。
国内規制	
陸上輸送	消防法の規制に従う。
海上輸送	該当情報なし。
航空輸送	該当情報なし。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。 —
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	第9条の4政令別表第4指定可燃物可燃性固体類
労働安全衛生法	名称等を表示し、通知すべき有害物に該当しない。
海洋汚染防止法	有害である物質(Y類)
16. その他の情報	
参考文献	17423の化学商品(化学工業日報社) 職場のあんぜんサイト(厚労省HP) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II 化学大辞典(共立出版) 記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。